

山形県立上山明新館高等学校 平成24年度 学校評価書

学校教育目標	(1) 心身ともに健康で、豊かな情操を持つ人間を育成する。
	(2) 真理を求め、責任を重んじ、社会の変化に対応してたくましく行動できる人間を育成する。
	(3) 創造力に富み、自ら考え、主体的に学ぶ意欲と豊かな知性を持つ人間を育成する。
	(4) 国際的な視野を持ち、郷土を愛し、社会に奉仕し貢献できる人間を育成する。

目指す学校像	①校訓「日日新たに、又日に新たなれ」のもと、品性を身につけ、個性を伸ばしたくましく生きる生徒の育成を目指す。
	②知識や体験、資格を活かして社会に貢献しうる、意欲あふれる生徒の育成を目指す。
	③特別活動を充実させ、自治的能力を備えた生徒の育成を目指す。

< 評価基準 A：達成 B：概ね達成 C：やや不十分 D：不十分 >

領域	重点目標	評価項目・具体的目標 (1～15)	H 2 3	H 2 4	H 2 5における課題と改善策	学校関係者評価 (平成24年度)
生徒理解	①不適応生徒の解消 ②教育相談事業の積極的推進 ③生徒・教職員の健康保持・増進	1. 面談週間を年2回設定し、生徒理解に努める。 ・学校適応指導委員会の役割の明確化 ・教育相談事業の実施 24回/年 ・生徒保健委員会活動の活発化 ・教職員研修会の実施 1回/年	① B ② A ③ B	① B ② A ③ B	・計画的かつ組織的な面談活動 ・面談時間や場所等の環境整備 ・職員間の学校不適応生徒情報の共有 ・生徒保健委員会の活性化 ・職員研修会の持ち方	・上山明新館を「入学して良かった」と言われる学校にしてほしい。 ・「地域貢献まちづくり事業」を中心とした施設への訪問演奏や除雪ボランティア、通学路や商店街への花の設置、地元の農業発展に貢献する研究活動や上山農業大学への協力など、本校の地貢献活動は住民の方々からも高い評価を得ている。今後とも推進してほしい。 ・ボランティア活動を行う上で、大切なのは事前指導である。通学路の除雪など、住民や施設のニーズ等の情報提供も積極的に行うので活用してほしい。 ・近くに大型商業施設ができ、交通量も増えたが、登下校時にトラブルや事故等がないように、定期的な巡回も含め、生徒の安全に配慮頂きたい。 ・学校不適応生徒への対応は、スクールカウンセラーの指導の下、適切に行い成果をあげていることは評価できる。
学習指導	①学ぶ意欲の向上 ②学習習慣・基礎学力の定着 ③指導法の研究・改善 ④学習センターの利用拡大	2. 出席率99%以上、年間皆勤40%以上、3年間皆勤20%以上 3. 家庭学習時間90分以上 ・生徒による授業評価と授業改善 ・学習センター広報活動 ・貸し出し一人3冊/年以上	① B ② C ③ B ④ B	① B ② C ③ B ④ B	・進路を意識させた学習習慣の確立 ・外部模試や検定等を活用した学習意欲の醸成と学力の向上 ・他教科の研究授業や校外研修等への積極的な参加による指導法の改善 ・生徒の変化に対応した出席率ももつ意味の検証と今後の数値目標の検討	・いじめや体罰等については定期的なアンケートの実施や相談しやすい雰囲気作りにより、現状の把握と未然防止に努めてほしい。 ・交通ルールやマナーについては、概ね良いが、登校時の駅から学校までの区間で交通の妨げになることがある。 ・自転車盗難については二重ロックを徹底し、未然防止に努めてほしい。 ・上山北中との交流授業については、評価が高く、今後も継続してほしい。 ・各種運動部の全校応援等を利用して、学校全体が1つになる取組を期待する。
生徒指導	①品性ある行動と規範意識の向上 ②特別活動の充実と自治的能力の向上 ③部活動の更なる充実・発展 ④地域貢献活動への積極的参加	4. 校訓の理解と挨拶の励行 5. 問題行動の減少 6. 全国：高校総体 団体2、個人5人以上 高校総文祭 団体1、個人5人以上 7. 地域貢献活動・ボランティア活動80件以上 ・交通マナー指導と交通街頭指導の実施 ・生徒会活動の活発化	① B ② B ③ A ④ B	① B ② B ③ B ④ A	・登下校時の交通マナーの向上 ・校内ルールの徹底 ・あいさつの日常化 ・部活動評価項目数値目標の見直し ・地域貢献活動の定着と更なる推進 ・全校応援等を通じた母校愛の育成 ・リーダー育成と資質向上	・50%を超えたPTA総会参加率の維持と、その他PTA会議への参加率向上への取組み ・タイムリーなHP更新に向けた検討 ・学級学年通信・明新館通信他、各種発行物による保護者への情報発信 ・学校評価アンケートの有効活用
進路指導	①キャリア教育の推進 ②一人ひとりの進路実現 ③進路目標の早期設定 ④組織的・機能的な指導体制の確立	8. 「キャリア教育総合実践プログラム」の実施 9. 国公立4年制大学10名以上、私立大学70名以上 10. 看護・医療系専門学校20名以上、公務員10名以上 11. 就職内定率100% ・「進路の手引き」の活用、ガイダンスの充実	① B ② B ③ C ④ B	① B ② B ③ C ④ C	・進路指導の組織的な運営と情報提供 ・「総合的な学習の時間」の有効活用に向けたプログラム等の再検討 ・AOや推薦入試に対する指導の研究 ・日々の学習時間確保に向けた自己管理能力向上のための取り組み	・「総合的な学習の時間」の有効活用に向けたプログラム等の再検討 ・AOや推薦入試に対する指導の研究 ・日々の学習時間確保に向けた自己管理能力向上のための取り組み
信頼される学校づくり	①保護者との連携強化 ②外部評価の実施と活用・公開 ③情報発信による開かれた学校 ④地域関連学習の促進 ⑤積極的な研修と資質向上	12. PTA総会、PTA学年部会出席率50%以上 13. PST座談会の実施 ・学校評価アンケートの実施 14. HPの毎月更新 「明新館通信」や学年通信の発行 15. 中学生体験入学参加500名以上 ・地域関係機関・農家と連携した研究5回以上/年 ・「研修集録」の発行	① C ② B ③ A ④ B ⑤ A	① B ② B ③ A ④ A ⑤ B		

アンケート評価

生徒 回収率95.6%	昨年度に比較し17項目中15項目でポイントが上昇し、高い評価項目も3項目増え12項目であり、適正な指導のもと充実した生活を送っている生徒が多いようである。特に、「学校行事の充実(92.0%)」「健康・安全面での学習機会(88.6%)」「本校に通うことの将来への意識(87.8%)」が高いのに加え、「先生が悩みや相談に親身に応じてくれるか」が4.5ポイント増加し80.1%であったことが評価できる。一方、「学習での不明点を聞きに行く(24.4%)」「読書への積極性(44.8%)」などは低い評価ではあったものの、昨年度に比較しポイントが上昇しており、徐々に改善している傾向にある。
保護者 回収率82.4%	「本校へ通うことの将来への意識(89.4%)」「学校行事の充実(88.5%)」「生活規律の指導方針への理解(88.1%)」「部活動・生徒会活動の活発さ(85.8%)」など6項目で高い評価を得た他、19項目中14項目でポイントが上昇している。一方、低評価項目では、「PTA活動など学校諸活動に協力している」が50.5%ではあるものの8.2ポイントの上昇、「教職員とのコミュニケーションを大切にしている」も58.6%ではあるが5.7ポイントの上昇と改善傾向にある。また、2～3ポイントの低下ではあったが、「快適な学校環境」「健康・安全、悩み相談」に不安を抱えている状況が伺える。
教職員 回収率96.6%	「生徒や保護者への誠意ある対応(100%)」「生徒の悩み・相談への対応(98.1%)」「進路指導関連(96.1%)」「部活動・生徒会活動の活発さ(94.2%)」「学校行事(94.2%)」などで高い評価を示した。また、「教職員の仕事上の連携(55.8%)」「校務分掌のバランス(52.0%)」「授業研究に適した環境(50.0%)」でポイントが低下し、かつ低評価であった。「生徒の質問にくる様子(33.4%)」は低評価ではあったが、昨年度に比較し7.4ポイント上昇しており改善傾向がみられた。来年度に向け、創立20周年記念式典や、普通科学級減とそれに伴う職員数の減少などへの対応も課題である。